

# 羽ばたけ！ こどもたち

大堀 寛人

⑨

「冒険」。宿に到着するなり、こどもたちは荷物の整理を始めます。普段はお母さん任せの衣服の準備も、お泊まりでは、すべて自分の役目。整理ができたことからも、やっとお弁当です。食後は、もう夕食の仕込みが待っています。カレーライスの具材を切ったり、皮をむいたり…。「働かざるもの食うべからず」です。ひと仕事を終えたら、お待ちかねの海水浴と磯遊び！「あそこから飛び込ん

でみる？」。先生が岩場からのダイビングに誘うと、こどもたちは一度は海を見下ろして足を震わせます。でも恐怖を乗り越え、成し遂げた時の表情は誇らしげ。次々に挑戦が続きます。夕食後は、花火大会や先生が準備した夜店を楽しむ「夜のつどい」。宿からの道のりは、みんなで「暗闇の散歩」です。月も星も見えない闇夜。「怖いよ、もう帰ろうよ」と泣きだしそうなおとももいます。身を寄せ合い、「ぼくがいるからだいじょうぶ」「手をつなごう」とお互いを励ます

五回、お泊まり保育があります。「お泊まり」はこどもたちにとって、親と離れる不安や荷物の管理などの大変さがあるけれど、それに勝る楽しさもたくさんあります。思い切り遊ぶこと、お風呂に入ること、寝ること…。濃密で楽しい時間を得るためには、努力が必要であることをお泊まりを通して学びます。

情報がはらんする現代を生きるこどもたちは、ハララドキドキの「未知の世界」に出会う機会をどんどん失っています。非日常的な「冒険」がいっぱいの

キャンプは、こどもたちに恐怖や不安でくじけそうな

## 達成感や助け合い学ぶ

声。恐怖心から連帯感が生まれ、支え合う大切さを学んでいきます。

「ちゅーりっぷ」では年長クラスになると、松山市への卒園旅行も含め、年に

心を克服し、仲間と助け合っ

（ふれいすくーる・ちゅーりっぷ）広島市西区Ⅱ園長）



浜辺でお昼寝。まぶしい太陽、波の音、潮の香り…。自然って、すごいな（園提供）

島で体験した二泊三日のキャンプについて紹介します。

テーマは